

「じんけん」と human rightsのあいだ — 日本型人権教育を再考する

個人の人権が国家と鋭く対立する刑事司法について理解するには、「人権」についての理解が欠かせません。にもかかわらず、学校での「人権教育」は、あまりにも不十分なのではないか——このような問題意識からCrimeInfoは、「人身の自由」をメインとした教材「知らないからこそ話し合おう！ #3『基本的人権』のこと」を作成し、現状の深刻さと問題の根深さを実感しました。

今年の世界人権デー企画は、ずばり、日本型「人権教育」を問う研究を一貫して続けてこられた阿久澤麻理子・大阪公立大学教授をお迎えし、お話を伺います。

「人権」と「人権教育」に関心をもつ皆様のご参加をお待ちしています。

日時：2026年12月27日(日) 13:00～15:00

Zoomを用いたオンライン開催 参加無料、要申込



講師

阿久澤 麻理子 さん

大阪公立大学経営学研究院 都市経営研究科（4月から改組により、経営学研究科 都市経営専攻）教授。社会学・教育学・国際人権の学際的視点から「変容する現代社会の部落差別」および「人権教育の役割（普遍的な人権の概念・基準が市民社会に浸透するプロセス）」を研究。大阪大学人間科学研究科博士後期課程修了。1998年より姫路工業大学（2004年改組により兵庫県立大学）、2011年より大阪市立大学教員を経て、2022年より大阪公立大学教員（現在に至る）。阿久澤麻理子・金子匡良（2006）『人権ってなに？ Q&A』解放出版社、阿久澤麻理子（2023）『差別する人の研究 変容する部落差別と現代のレイシズム』旬報社、Akuzawa, Mariko. (2026.8月刊) “The Contemporary Nature of Buraku Discrimination: Is It More Geographical than Genealogical?” T. Amos編 Handbook of Buraku Studies, London: Routledge（土地差別について書いています）。

